指定管理者の管理運営に対する評価シート(年度評価)

所管部課	教育委員会事務局 文化・生涯学習課
評価対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日

I 指定管理の概要

1							
	名 称	龍ケ崎市立中央	中図書館				
	所在地	龍ケ崎市馴馬田	龍ケ崎市馴馬町 2630 番地				
施設概要	関係条例等	龍ケ崎市立図書館の設置及び管理に関する条例 龍ケ崎市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則					
	設置目的	図書,記録その他必要な資料を収集し,整理し,保存して,一般用に供し,その教養,調査研究,レクリエーション等に資することする。さらに学校教育を援助し,及び家庭教育の向上に資することう留意した事業を実施する。				ことを目的と	
利用料	斗金制	非利用	用料金制 ・ -	一部利用料金制	· 完全利用#	斗金制	
	名 称	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社					
	所在地	東京都調布市調布ヶ丘3丁目6番地3					
指定管理者	事業内容	作, 受付, 電記	話交換,秘書, ス ごス,ロビー案内	堂)/図書館業務 ファイリング,紹 B,清掃)/警備	経理)/管理サー	・ビス業務	
指定管理業務の内容		・施設の利用及び運営に関すること。・施設の使用の許可に関すること。・施設の附帯設備及び資料の維持管理に関すること。・その他龍ケ崎市が必要と認める業務に関すること。					
指定	指 定 期 間		令和2年度	~ 令和6年度	度(5年間)		
公 人並在 ((午度証価)	令和 2 年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
松口計画(総合評価(年度評価)		А		_		

龍ケ崎市指定管理者選定委員会からの前年度指摘等事項への対応

・評価シートの記入ミスや不適切な表現が多かったことについて

担当課で指定管理者から提出された事業報告書を指定管理者にヒアリングを行いながら内容を確認して評価 するとともに、当評価シートの「評価の理由、要因・原因分析」について簡潔に説明を記載した。

・「新しい生活様式」に対応したサービスの在り方について

利用者へ手指消毒や検温などの基本対策の徹底を呼びかけるとともに、参加枠を設けてイベントを再開し、参加希望者が無駄に足を運ぶことがないよう事前予約制にした。また、多数の参加者が見込まれたリサイクルブックは、長時間並ぶ必要がないよう整理券を発行するなど感染対策を行いながら開催した。

・新たな利用需要を生み出す工夫について

35 周年記念イベントの I 事業として演奏会を開催した。オカリーナという楽器の選択も良かったが,静かに利用するという固いイメージがある図書館内で演奏会を成功させたことは,図書館の新たな可能性を感じさせる 画期的な取組みであったと評価したい。

2 評価結果

評価基準及び評価のポイント	配点	評価 RANK	得点
l 【有効性】施設の設置目的の達成に関する取組み など	50		40
(I) 施設の設置目的の達成に向けた取組み			
① 事業計画書等で示す各種事業やイベントは適切に行われたか。また,			
当該年度の管理運営目標を達成できたか。			
② 施設の利用者数の増加や利便性を高めるための取組みがなされたか。	30	Α	24
③ 複数の施設を一括して管理する場合,施設間の有機的な連携が図られ	30		24
たか。			
④ 施設及び備品は適切に維持管理がなされたか。			
⑤ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動がなされたか。			

【評価の理由,要因・原因分析】

- ① 主に下記の取り組みを評価した
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館や開館時間短縮、業務縮小を行ったことにより、巻末の「管理運営実績データ」に示すように計画通りの事業は実施出来なかったが、茨城県の感染レベルを考慮しながら、図書館開館 35 周年記念イベントや、子ども映画会、蔵書を使用したなぞ解き等の新規イベントを行った。
 - ・昨年度,新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため文化講演会を中止したが,講師と連絡調整を継続して行い,企画や安全対策を練り直し2年越しで開催した。
 - ・学校図書館からのリクエスト図書を購入するなど、学校と連携した取り組みを強化して実施した。
- ② 銀行等の金銭の出し入れを通帳に記帳するように、貸出資料を記録する読書通帳を導入した。市内 小学生に通帳の無料引き換え券を配布したほか、一般へは 150 円で販売し、466 枚を発行した。

また、来館不要で本を読むことができ、感染対策としても有効な電子図書館の利用促進を図るため、新規登録キャンペーンで新規登録者にオリジナルのクリアファイルを制作してプレゼントを行い、電子図書館の推進イベントを行った結果、登録者が前年度より 56%増加した。

③ 感染対策等で休業する職員がいる場合にも必要な人員数が確保できるよう、中央図書館・北竜台分館が相互に協力し合う体制を整えた。また、分館図書の納品・受入作業を中央図書館で行い、搬送車を運行して受入図書や予約資料を分館へ届けているほか、分館のイベント開催時には中央図書館から職員が応援に出向いている。

加えて、コミュニティセンター図書室 IO カ所へ予約図書を配送・回収したほか、希望があったコミュニティセンター職員へシステム操作研修を実施した。

- ④ 施設設備の維持管理は、仕様書の内容に沿って適切に行われており、排煙オペレーターの修繕や正面玄関返却ポストの塗装及び不具合の調整など、緊急性の高い修繕を優先して計画的に行っている。 また、9月から利用を開始した2階学習室・授乳室の利用案内や管理を適切に行っている。
- ⑤ 図書館 HP, SNS, 市メールでの図書館だより配信などインターネットを活用して広報活動を行った ほか, 図書館だより, 図書館瓦版(おいでよ龍ケ崎市の図書館), イベント毎のチラシ・ポスターを 作成し配布・掲示を行った。また, 利用が少ない中高生に向けた図書館だよりを新たに制作して配布 した。

(2) 利用者の満足度			
① 利用者アンケート等の結果,施設利用者の満足が得られているか。	20	Α	16
② 利用者の意見を把握し、それを反映させる取組みがなされたか。			

- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他利用者満足度を向上させるための具体的な取組みがなされたか。

【評価の理由,要因・原因分析】

- ① 毎年度,7項目の同じ質問で利用者アンケートを行い,前年比の結果から分析を行っている。本年度 10月に実施した結果は,満足度が全体的に減少しているが,従来の回答方法を変更し,「わからない」を廃止して「普通」の選択肢を追加したところ「普通」の回答が増えたこと,感染対策のため様々な利用制限が長く続いたことが原因であると考える。
- ② 館内に「ご意見箱」を設置したほか、窓口、メール等で問い合わせや意見を受付けており、また、 利用者アンケートにも自由記述欄を設けて、意見を広く受け入れる体制を整えている。

受付件数は、ご意見箱 2件、口頭 13件、メール・電話等 28件である。

また、市内在住利用者からの図書購入リクエストにより図書の購入を行い、蔵書作りを行っている。

- ③ ②の意見等については、館内掲示・図書館 HP で回答を公開するほか、職員内で情報を共有し、管理運営に反映させている。
 - 例 I) 新書(岩波新書,新潮新書等の高さ I8cm 前後の本)棚の最下段の本が見難いという意見に対し、棚を増設して最下段の本を移動して見やすくした。

例 2) 要望により、リクエストの受付をメールで受けとることが可能となった。

- ④ 利用案内やパンフレット等を正面玄関入口付近に集約して設置し、施設利用や市の情報提供を行ったほか、施設の感染対策や休館日、イベント案内等を図書館 HP、フェイスブック、ツイッター、市メールサービスを活用して公表した。特に感染対策については、文化・生涯学習課と協議しながら内容やタイミングなど、市の他施設と足並みを揃えて情報提供を行っている。
- ⑤ ・イベント開催 子育て世代や大人向け・子ども向けなど世代別のイベントを開催した。
 - ・レファレンス 館内利用案内,所蔵・事項調査等のレファレンスを行い,調査の参考となるパスファインダーを作成して利用者に提供すると共に,市内小中高等学校図書館へ配付した。アンケートでは「探している本や調べものの手助け」の満足度が72%と高い。
 - ・相互貸借 自館に所蔵がない資料は,県内外の図書館から借り受けて提供を行っている。
 - ・雑誌タイトル数の増加 休刊や廃刊により雑誌の種類が少なくなったため、令和 4 年 4 月より新たに 4 誌を購入することとしている。

評価基準及び評価のポイント	配点	評価 RANK	得点
2 【効率性】効率性の向上等に関する取組み	20		12
(1) 指定管理業務に係る経費の低減 など			
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減させるための取組みがな			
されたか。	20	В	12
② 収支計画に沿った予算の適切な執行がなされたか。	20		12
③ 清掃や警備,設備の保守点検等の業務は適切な水準で行われたか。ま			
た,再委託している場合は経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

① 東京オリンピック 2020 に提供した感染防止用パーテーションや消毒液等が、使用されずに返却されたことから、一部を図書館で使用して感染対策費を抑えることができた。

また、 | 時間毎に館内・館外の温度差を計測して空調を調節することにより、電気料金の節減に取り組んでいる。

② 新型コロナウイルス感染症対策のため、収支計画どおりの執行は出来なかった。リースを予定していた読書通帳を購入したことで変更となっている費目がある。

また、中央図書館職員を分館へ異動し、担当職員が中央図書館業務を行いながら分館業務を進めたため、人件費は増額となっている。

- ※北竜台分館の人件費・教育費は抑えられている。
- ③ 清掃業務,機械警備,設備保守等は,教育委員会の承認を得て再委託され,仕様書に規定した水準で適切に行われている。また,業者の選定が可能な業務については,見積額やサービス,信頼度等を考慮して業者を選定している。

評価基準及び評価のポイント	配点	評価 RANK	得点
3 【適正性】公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	30		21
(1) 施設の管理運営の実施状況 など			
① 施設の管理運営に当たる人員は適切に配置され、また適切な雇用・労			
働環境のための取組みがなされたか。	15	۸	12
② 職員の資質・能力向上のための取組みがなされたか。	15 A		12
③ 地元貢献(地域経済活性化や地域との連携など)のための取組みがな			
されたか。			

【評価の理由,要因・原因分析】

① 館長・副館長各 | 名・窓口責任者 6 名・司書社員 4 名・パート | 3 名(令和 4 年 3 月末現在)の 25 名により、必要な人員を交替勤務制で配置し業務を行っている。

また、令和3年度は該当する職員がいなかったが、社員には、勤続年数に応じた旅行券とリフレッシュ休暇の付与、結婚や出産祝いなどの制度がある。

- ② 茨城県図書館協会主催研修ほか多様な研修会に 19回,延べ77名が参加した。年度中は新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される状況が長かったが、リモートによる開催が増えたために多くの職員が参加した。また、パート 1名が司書資格を取得した。
- ③ 図書館資料と書誌データは市内書店組合を介して購入し、地域経済に貢献している。

また、学校との連携を強化し、「管理実績運営データ」に示すとおり多くの事業を行ったほか、令和3年度市民協働事業のIつである「花植え美化活動」において文化会館・中央図書館エリアで活動するNPOへ協力を行った。

(2) 平等利用、安全対策,危機管理体制 など					
① 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されていたか。					
② 利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。 15 B					
③ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	15	Ь	7		
④ 防犯,防災対策などの危機管理体制が適切であったか。					
⑤ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。					

【評価の理由,要因・原因分析】

- ① 会社として(一財)日本情報経済社会推進協会が付与するプライバシーマークを取得しており、新規採用職員へ研修を実施するなど、茨城営業所長を個人情報保護責任者として個人情報保護の遵守に取り組んでいる。また、令和3年度に予定されていた、個人情報の扱いを含む社内監査は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、延期となった。
- ② 利用者の希望により、窓口での筆談対応や車いすの介助を行ったほか、介護施設入居者への宅配(2 名)を行っている。

- ③ 開館時, 12 時前後, 17 時前後, 閉館前に館内の見回りを行い, 利用者に注意喚起が必要な場合は, 声掛けや館内掲示を行う等の対応を行った。
- ④ 緊急連絡網により、夜間または休館日の連絡体制が出来ている。6月と2月に避難訓練を行ったほか、10月には「図書館の危機管理」をテーマに22名が参加してリモートの社内研修を行っている。
- ⑤ 夜間・休日の地震発生や台風通過等の際は,必ず被害の有無と対応について報告があった。

評価 RANK	得点率	評価 RANK の内容
S	100%	目標(計画)を大幅に上回り,優れた管理運営がなされている。
Α	80%	目標(計画)を上回る管理運営がなされている。
В	60%	目標(計画)どおり適正に管理運営がなされている。
С	40%	目標(計画)を下回る管理運営がなされている。
D	20%	目標(計画)を大幅に下回る管理運営がなされている。
Е	0%	不適切な管理運営がなされている。

【総合評価】

合計得点	73 点	総合評価	Α
------	------	------	---

[総評]

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、休館や業務を縮小することになり、運営が難しい状況だった。企画した業務の中止・延期・変更を余儀なくされるなかではあったが、感染状況に柔軟に対応し、「管理運営実績データ」のとおり事業を実施したことは高く評価できる。

特に,前年度に中止となった講演会を2年越しで開催したこと,学校・学校図書館との連携を強化したこと,図書館のイメージを刷新するような演奏会の開催などには,図書館の利用促進と読書推進への熱意が感じられる。

また、事業報告からは見え難いが、北竜台分館のオープンに向けて、新しい図書購入方法の開拓やカフェ事業の導入準備を行う等、職員が一丸となって取り組んだ結果、新館をスムーズに開館することが出来た。

[改善を要する事項]

指定管理者は、市で定めた指定期間の5年間、適切に施設を管理・運営することが求められる。そのため、効率的に人材を配置し成果を上げるために、業務に慣れた職員が同じ業務を担当する傾向がある。このような中 I 業務に複数の職員があたることで、各職員がレベルアップするとともに、アイデアや考え方の幅が広がることが考えられる。

総合評価	総合評価の内容	合計得点
S	特に優れていると認められる。	90 点以上
Α	優れていると認められる。	70 点以上 90 点未満
В	適正であると認められる。	60 点以上 70 点未満
С	努力を要すると認められる。	50 点以上 60 点未満
D	相当の努力を要すると認められる。	50 点未満

【龍ケ崎市指定管理者選定委員会の意見】

令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい運営を強いられる中、感染症対策の配慮を含めた施設管理運営の取り組みが実施されており、さらには読書通帳の導入や電子図書館の登録促進による利用者の増加や利便性の向上を図ったことなど、総じて効率かつ適正な管理運営がなされていると評価できる。

一方, 令和3年7月から開設された図書館北竜台分館との事業費の区分については, 同一の指定管理者ではあるものの不明瞭な点が見受けられることから今後は改善されることをお願いしたい。

また、利用者アンケート調査の実施については、さらなる利用者満足度の向上と新規の利用者の獲得による施設の設置目的が十分に達成されるよう、利用者と管理者が双方にとって有意義となるべく調査項目や調査対象などを見直した内容とし、アンケート結果を真摯に受け止めて今後の施設運営に反映して欲しい。

管理運営実績データ

官理理呂美額アーク	•
施設名	龍ケ崎市立中央図書館
	I 運営目標
	①図書館資料の充実
	②利用者アンケート実施とアンケート結果に対する図書館の考え方の公開
	③学校教育機関・社会教育機関との連携
	④子校教育機関 位本教育機関との定該 ④スタッフ研修
	2 新規事業の実施
	①子ども映画観賞会
事業計画の内容	②ティーンズ向け図書館だよりの発行
	③図書館 35 周年記念イベント
	④子育て世代向けイベント ② ト / の * * * * * * * * * * * * * * * * * *
	⑤大人のための生涯学習講座
	⑥「POP」作成教室開催
	3 既存事業の継続実施
実	① 図書館資料の充実
	・購入図書 7,039 点
	· 購入視聴覚資料 (DVD, CD) I 20 点
	・購入電子書籍 I,047 点
績	・総額 19,099,320 円(雑誌,新聞,加除資料を含む)
	② 利用者アンケート実施とアンケート結果に対する図書館の考え方の公開
	・図書館 HP にアンケート結果と意見に対する図書館の回答を公開
	・実施期間 10月28日~11月18日
	・回答数 401 件
	・自由記述により評価された点
	スタッフの対応の良さ 20 件
	感謝のことば(ありがとう等) 14件
運営状況	施設の良さ 5件 など
	・自由記述による意見
	蔵書を増やしてほしい 17件
	新刊を増やしてほしい 6件
	本が探しづらい 6件 など
	・寄せられた意見に対応した例
	雑誌タイトルの増加
	新書書架の最下段を使用せずに図書を並べるために書架を購入
	③ 学校教育機関・社会教育機関との連携
	・学校図書館「セレクト便」の運行
	学校図書館からのレファレンス内容に合わせて、蔵書から司書が選書して
	団体貸出を行い、毎週月曜日に学校まで配送を行った。貸出冊数は、小学校
	が 2,212 冊(前年比 1.4 倍),中学校が 974 冊(前年比 1.1 倍)。
	・学校からのリクエスト本を購入

学校からの購入希望に応じたり、学校図書館「セレクト便」配送時や学校図書館司書研修会等で、学校が必要とする資料を把握し、430冊(101,460円)の図書を購入して、学校へ貸出を行った。

- ・学童保育ルーム「おまかせ便」の運行 司書が選んだ本 50 冊の団体貸出を行い、希望があった 5 ルームへ配送を 行った。 隔月配送 1,500 冊/年
- ・つぼみ園への配送

養育に必要な本等,つぼみ園の希望を聞きながら司書が選書して団体貸出を行い、月 I 回 70 冊を配送した。

・出前講座

大宮小学校「龍ケ崎の昔話」 20 人 城ノ内小学校「地域に伝わる伝承」 78 人 城西中学校「乳児向けの絵本講座」 98 人

・学校図書館司書を対象とした研修会開催 「魅力的なポップの書き方と展示の仕方」講師:石井真一氏((株)トーハン) 17人

④ スタッフ研修

茨城県図書館協議会が主催する研修会や自社研修会,電子図書館サービス提供会社の研修会など,多様な研修会に19回,延べ77名が参加した。

【下記 2, 3 の実績について】

[] 内は、令和 3 年度事業計画の開催予定数。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館・事業縮小により、開催実績は計画より低くなっている。

- 2 新規事業
- ① 子ども映画会

35周年イベント及び図書館まつりにおいて各 | 回を開催した。

- ・35 周年イベント 「すみっコぐらし」 44 人
- ・図書館まつり 「くまのアーネストおじさんとセレスティーヌ」 5人
- ② ティーンズ向け図書館だよりの発行 中高生向けの図書館だよりを作成し、市内中学校・高等学校へ配付[I]
- ③ 図書館 35 周年記念イベント
 - · 開館 35 周年記念式典
 - ・オカリーナとキーボードのミニ演奏会 25人
 - ・こども映画会 44人
 - ・夏の電子図書館まつり 12人
 - ·読書通帳機利用開始
 - ·読書通帳引換(小学生) · 販売開始
 - ・記念トートバッグ販売開始
- ④ 子育て世代向けイベント 「どならない子育て練習法講座」

講師:シダックス大新東ヒューマンサービス職員 2人

- ⑤ 大人のための生涯学習講座 [3事業]
 - ・バスボムをつくろう 9人
 - ・図書館の使い方講座 中止
- ⑥ 「POP」作成教室開催(学校図書館司書研修会) Ⅰ-③-「学校図書館司書を対象とした研修会開催」に同じ

⑦ AGRI BATPN PROJECT と図書館のおいしいおはなし会

令和4年7月に延期

※AGRI BATPN PROJEC=農業を子どもたちのあこがれの職業にすることを目指した農業女子。令和3年,市民協働事業を活用し絵本「あさごはんのたね」を出版

- 3 既存事業の継続実施
- ① おはなし会
 - ・おはなし会 12回 延59人 [22回]
 - ・こぐまちゃんのおはなし会 5回 延 18人 [12回]
- ② たつの子お話タイム 2回 延6人 [8回]
- ③ ブックスタート事業 27回 延341人 [24回] 例年、保健センターで行われる「3・4か月児健康診査」に合わせて、ボランティアによる読み聞かせを開催しているが、今年度は絵本2冊と絵本バックの配付のみを行った。
- ④ こどもの読書週間イベント 4月23日~5月31日
 - ・企画展示 「東京オリンピック パラリンピック」〜世界の国の本を読んで メダルをもらおう〜
 - ・読書スタンプラリー 89人
 - ・花いっぱいの読書の木をつくろう 26人
 - ·児童図書のリサイクルブック 4月25日 4,109 冊提供
 - ・ブックカバーをつくろう 5月1日 3人
 - ・自分だけのおまもりをつくろう 5月5日 27人
 - ・スペシャルおはなし会 中止
- ⑤ 夏休み子ども向け講座
 - ・夏休み子どもセミナー 「蚕と繭の不思議な世界」 18人 「楽しいお天気のお話と実験」 中止
 - ・読書感想文の書き方講座 15人
 - ・親子で学ぶプログラミング講座 中止
 - ・自由研究コラボレーションイベント 中止
- ⑥ ぬいぐるみのおとまり会 I回 9人 〔2回〕
- ⑦ 子ども司書講座 中止 〔2期〕
- ⑧ 赤ちゃんタイム・赤ちゃんタイムイベント
 - ・赤ちゃんタイム 中止 [12回]
 - ・赤ちゃんタイムイベント |回 8人 [2回]
- ⑨ 牛山純一・特選ドキュメンタリー上映会 3回 延5人 〔12回〕
- ⑩ 大人のためのおはなし会 2回 21人
- ① 秋の読書週間イベント 10月27日~11月30日
 - ・みんなで読書の木をつくろう 19人
 - ・家読キャンペーン 2人
 - ・ひゃっか王からの挑戦状 13人
- ② 市民文芸セミナー 中止 [2講座各 10回]
- ③ 図書館まつり
 - ・文芸セミナー受講生作品展 中止
 - ・スペシャルおはなし会 中止
 - ・こども映画会 5人
- ⑭ 市民文学散歩 中止 [2回]

- (5) 終戦記念日特別企画 中止 [1回]
- ⑥ 講演会の開催 | 回 「私の考え」 講師:三浦璃麗氏 | 159 人
- ⑦ 福ブック I回 50セットを貸出 [I回]
- ® クリスマス展示コラボレーシラン
- ⑨ おはなしボランティアの充実
 - ・学校読み聞かせボランティアのための研修講座 I回 32人
 - ・ブックスタートボランティア研修会 中止[I回]
 - ・おはなしボランティア講習会 | 回 32人
- ② リサイクルBOOK 5回 計 15,357 冊提供
- ② 新着リストの作成・配布 月 | 回 対象年齢別に新刊リストを作成し、市内小中学校、市内幼稚園・保育園・保育所・認定こども園、つぼみ園、美保特別支援学校などへ配付
- ② パスファインダーの作成・配布 「龍ケ崎城について調べる」 「住井すゑについて調べる」
- ② 広報活動の強化
 - ・図書館だより発行 月 | 回
 - ・子ども向け図書館だより「シグナス」発行 年4回
 - ・児童図書おたより「こんな本だよ」発行 年2回
 - ・PR 紙の作成・配布 「おいでよ!龍ケ崎市の図書館」 年 | 回
 - ・図書館 HP・SNS, 市メール配信
- 4 新型コロナウイルス感染症拡大防止の主な対策
- ① 臨時休館 8月17日~9月19日
- ② 入館制限 8月6日~8月16日(図書館書架立ち入り禁止,貸出・返却・貸出延長のみ)

9月 | | 日~ 市内在住者の予約図書の貸出のみ対応 9月 | 4日~ | 9日 電話での予約及び予約図書の貸出のみ対応

③ 閉館時間変更 (時間短縮) 5月6日~ 17時まで

7月 | 日~ | 18時 30 分まで 7月 30日~8月 | 6日 | 17時まで 9月 20日~ | 17時まで | 月 27日~3月 2 | 日 | 17時まで

- ④ 貸出冊数の増冊・貸出期間の延長
- ⑤ 検温・手指消毒・アマビエちゃん利用の呼びかけ
- ⑥ 館内換気と消毒,フロアマーカーの設置

■中央図書館入館者数及び貸出冊数

利用状況

	H29	Н30	R元	R2	R3
入館者数	186,408 人	181,022人	161,117人	83,473 人	92,916人
利用者数	82,776 人	86,275 人	77,603 人	51,371人	55,862 人
貸出冊数	299,025 冊	303,391 冊	285, 882 冊	219,973 冊	230,916 冊
入館者数	●通年換算した場合 新型コロナウイルス感染拡 大防止対策のための臨時休館		178,500 人	93,058人	103,072 人
利用者数			98,600 人	57,256 人	61,968人
貸出冊数	等を行わなかっ とし,開館時間 用減は考慮して	見短縮による利	348, 160 冊	245, 208 冊	256, 155 冊

■各コミュニティセンター図書室の利用者数及び貸出冊数

松	葉	大	宮	北文間※		馴柴	
利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数
2, 262	5,601	26	59	133	250	1,574	3,980

※北文間は、図書室の設置なし。返却・予約・予約本の貸出業務のみ。

長	Ш	八原		久傷	呆台	龍ケ崎西		
利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数	
1,866	4,492	936	2,641	783	2,077	329	612	

馴点	馬台	城/内			
利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数		
641	1,758	392	936		

○ コミュニティセンターの希望により、長戸・川原代コミュニティセンター図書室は、他の用途に転用した。図書利用者に対しては、コミュニティセンター窓口で、予約図書の受け渡しを行っている。(利用数は中央図書館に含む)

長	戸	川原代			
利用者数	貸出冊数	利用者数	貸出冊数		
0	0	18	17		

■総合計

利用者数	貸出冊数
64,804	253, 322

■市内団体等による施設利用状況

	鑑賞室	小会議室	学習室	ギャラリー
利用回数・人数	71 回	3 回	809 人	回

○ 小会議室は、9月に10席の個人机を配置した学習室にリニューアルした。

■レファレンス受付件数

	利用案内	所蔵調査	事項調査	その他
件数	1,475	852	62	36

■相互貸借

	借受	貸出
点数	698	566

- ■鑑賞室の利用開放状況(学習室として 10 席を開放) 17 日/年
- ■電子図書館利用状況 登録者数 66 I 人/年(総数 I,885 人) 貸出冊数 13,682 点/年(分館を含む)
- ■商用データベース利用状況 ・日経テレコン 4件

5件 ・ヨミダス歴史館 ・茨城新聞データベース 10件 ■ナクソス・ミュージックライブラリー利用数 135 人/年(分館を含む) ■コピー利用料実績 利用枚数(モノクロ) 収入額 利用枚数(カラー) 295 枚 53,360円 4,451枚 ※モノクロ 10 円/枚, カラー30 円/枚 ■データベース印刷料実績 収入額 利用枚数 2枚 20 円 利用料 (使用料) 収入及び減免の ■読書通帳販売実績 状況 販売冊数 収入額 26,550円 177枚 ※150円/冊 ■オリジナルトートバッグ販売実績 販売枚数 収入額 32,000円 40 枚 ※800円/枚 【利用者アンケートの実施状況】 ■実施期間 10月28日~11月18日 ■回答数 401 ① 図書館の利用頻度 (%)

	週3回	週 回	月 2, 3 回	月に1回	年に数回	初めて	その他
	以上	以上					
利用の割合	0	11	43	36	10	0	0

② 図書館の利用内容(複数回答可)

(%)

アンケートの 実施状況

	利用の割合
本や雑誌を借りる	100
CDを借りる	37
図書館の中で本を読む	44
雑誌や新聞を読む	41
調べものをする	44
インターネットでパソコンを利用する	18
探している本,調べものを職員に頼む	62
予約,リクエストサービスを利用する	67
館内で DVD, VHS を視聴する	6
資料リサイクルの本、雑誌を活用する	35
電子図書館を利用する	18
ナクソス・ミュージックライブラリーを利用する	3
新聞などのオンラインデータベースを利用する	2
おはなし会や牛山純一上映会など、図書館のイベントに参加する	16

③ 満足度

(%)

	とても満足	満足	普通	不満	とても不満
図書館の施設・設備	19	50	26	5	0
図書館の開館日数	30	57	13	0	0

				_	ı	Ī	_ 1	_
	図書館の開館時間 図書館の資料数	25 12		56 30	17 45	1:	2 0	-
	図書館資料の質・種類	10		31	49		7	-
	職員の対応	35		50	15	(0	
	探している本や調べも のの手助け	29		43	27		0	
								<u> </u>
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•				予 算		
	収入				収入			
	指定管理料	94,165	7,000		指定管理料		94,167,00	0
	コピー料金収入	53	3,380		コピー料金	収入	40,00	0
	物販(通帳・バッグ)	58	3,550		物販(通帳・	バッグ)		0
	함	94,278	3,930			計	94,207,00	0
	支出			-	支 出			
	人件費	49,083	3,844		人件費		48,512,00	0
	給与	42,038	3,143		給与		42,000,00	0
	通勤費	1,404	,369		通勤費		1,212,00	0
	法定福利費	5,64	,332	法定福利費		費	5,300,00	0
	管理費	35,022	2,176	•	管理費		35,765,00	0
	図書購入費	19,099	7,320	図書購入費		費	18,900,00	0
	データベース使用料	952	2,600	•	データベー	ス使用料	840,00	0
	光熱水費	3,42	,131		光熱水費		4,300,00	0
	修繕費	556	5.840	•	修繕費		500,00	0
事業費内訳	消耗品費	1,459	1,459,144		消耗品費		1,190,00	0
	燃料費	90	90,924		燃料費		120,00	0
	通信費	2,027	2,027,540		通信費		2,110,00	0
	保険料	18	181,296		保険料		265,00	0
	委託料(図書関連)	1,640	1,649,703		委託料(図書関連)		2,186,00	0
	委託料(施設管理)	4,483,505		委託料(施設管理)		設管理)	3,698,00	0
	賃借料	361,925			賃借料		720,00	0
	備品購入	679	679,248		備品購入		874,00	0
	負担金	50	7,000		負担金		62,00	0
	事業費	1,929	7,307		事業費		1,520,00	0
	報償費	360	0,000		報償費		470,00	0
	ブックスタート	645	5,810		ブックス		800,00	— О
	図書購入費			図書購入費				
	企画展示費		i,501		企画展示		30,00	
	その他事業経費		¥,873		その他事		70,00	
	新規事業費		1,123		新規事業		150,00	
	未払い消費税	4,765	7,948		未払い消費	税	4,851,20	0

	管理経費	3,475,655	管理経費	3,558,800
	計	94,278,930	計	94,207,000